

悪質商法に

気をつけて！



被害防止の心得6カ条

- 一 おいしい話や甘い誘惑には「用心」とハッキリ言いましょう
- 二 きっぱりと断ろう
あまいな返事はせずに「いいません」「お断りします」とハッキリ言いましょう
- 三 時間を置いてから契約を
その場で契約せずに冷静になってから判断しましょう
- 四 契約内容は書面で確認
説明受けた内容が契約書面に記載されているか確認しましょう
- 五 不審に思ったらすぐ相談
おかしいなと思ったら、一人で決めずに家族や友人または消費生活センターへ相談しましょう
- 六 悪質商法の手口を知ろう
かまわない消費者になるために知識を身につけましょう

問い合わせ

佐賀県 消費生活センター
市民生活課 生活環境係
☎ 24-0999
☎ 75-6117

光化学オキシダント

(光化学スモッグ)に注意しましょう

光化学オキシダントは春から秋にかけての晴れた日中に高濃度となる傾向があります。佐賀県では県内8地域に分けてそれぞれの地域の測定局の値が注意報の基準値(1時間の値が0.12ppm)を超えた場合に、その地域に注意報が発令されます。注意報が発令されたときは、外出や屋外での激しい運動を控えてください。目や喉に異常を感じたときは洗顔、うがいを行ってください。症状が回復しないときは医師の診察を受けてください。

問い合わせ

佐賀県 環境課
市民生活課 生活環境係
☎ 25-7774
☎ 75-6117



地球温暖化防止のため

エコドライブのすすめ

エアコンの使用を控えめに！
「車内を冷やし過ぎないようにしましょう。」

エアコンの使用時にはエンジンの負荷が大きくなるため、燃料の使用

広域清掃センター

建設推進課だより

人の暮らしと清掃センターの関係は、決して切り離すことができません。清掃センターは、私たちの生活環境をサポートしてくれる大切なパートナーです。新しい清掃センターを建設するには、全国的に長い年月がかかっています。広い建設用地、住民のみなさんの理解、各種手続きや環境影響調査などの様々な工程を解決していかなければなりません。

では、候補地選定委員会のこれまでの経過をご報告します。

「広域清掃センター建設候補地選定委員会」では、

- ①人口で比較すると小城市46、817人、多久市22、712人(平成19年度6月現在)で、小城市が多久市の約2倍、ごみ量も人口に伴い小城市の方が多く、地域のご

量が増加します。気象条件に応じて、こまめに温度・風量の調整を行いましょう。特に夏場に設定温度を下げすぎないことがポイントです。

外気温が25℃の時にエアコンを使用すると、一割程度燃費が悪化します。

問い合わせ

市民生活課 生活環境係
☎ 75-6117

必要である。

②清掃センターへのごみの搬送回数(費用)でみると、搬送距離が短い程コストが抑えられる。

以上の理由から、小城市内全域で複数の候補地について検討しております。

近年に建設された清掃センターは、佐賀市のように余熱を利用したスポーツ施設やリサイクルセンターの他に環境学習センター、コミュニティセンター、リフレッシュ公園など、市民が学びながら余暇を楽しめる環境を整備した施設もあります。ただし、多久市・小城市との広域計画での地域環境整備については、みなさんと共に検討していく予定です。

問い合わせ

市民生活課

生活環境係 ☎ 75-6117
小城市 広域清掃センター
建設推進課 ☎ 73-8816